

- 一年を振り返り、新たな決意を
- 進研模試の結果（1、2年）
- 3年生の自宅学習について
- 大学入学共通テスト迫る

アインシュタインに関わる3つの文書

物理科 赤松 輝夫

物理学者アインシュタイン（1879～1955）に関わる3つの文書を紹介します。アインシュタインが考えた物理学の理論は、光量子説・ブラウン運動・特殊相対性理論・一般相対性理論など様々であり、特に最近では、発表から100年経ってやっと実験観測によって2016年に存在が証明された「重力波」について記憶のある生徒もいると思います。そして、彼には平和な世界を願い苦悩し続けてきた一面があります。この事に関してアインシュタインに関わった文書を紹介します。

まず1つ目は、国際連盟からの“誰でも好きな方を選び、いまの文明でもっとも大切と思える問いについて意見を交換してほしい”という提案に応じて、1932年、アインシュタインが精神分析学者のフロイト（1856～1939）に宛てて書いた手紙です。テーマは「人間を戦争というくびきから解き放つことはできるのか？」であり、その内容を幾つか紹介します。「技術が大きく進歩し、戦争は私たち文明人の運命を決する問題となりました。ですが、いまだ解決策が…。国際的な平和を実現しようとするれば、各国が主導権の一部を完全に放棄し、…。」という考えを述べ「人間の心を…。憎悪と破壊という心の病に冒されないようにすることはできるのか？」と問いかけています。そして、フロイトは「人間には本能的な欲求が…。絶滅させようとする欲求が潜んでいるのではないか。…。そのような本能が人間にはある、…。」「私たちが戦争に憤りを覚えるのはなぜか。…。心と体が反対せざるを得ないからです。」そして最後に「文化の発展を促せば、戦争の終焉へ向けて歩み出すことができる！」と応えています。残念ながら、この2人が交わした書簡は歴史の闇にしばらく隠されることとなります。ナチスが勢力を上げてきた時代であり、ユダヤ系である2人にも迫害の危機が訪れます。その後フロイトはオーストリアからイギリスへ亡命し、アインシュタインはドイツを離れアメリカへ亡命することになります。

2つ目は、1939年、アメリカの原子爆弾開発のきっかけのひとつとなったことで知られるフランクリン・ルーズベルト大統領宛に送られた「アインシュタイン＝シラードの手紙」です。きっかけは、ナチス・ドイツの原爆製造につながる可能性に懸念をいだき、けん制のためにアメリカが先駆けて開発する必要性を考えたハンガリー生まれのアメリカのユダヤ系物理学者シラードからの依頼です。「…ウラン元素が近い将来、新しい重要なエネルギー源となるかもしれない」「…極めて強力な新型の爆弾の製造につながるかもしれません。」「私の知るところでは、実際ドイツは、…チェコスロバキアの鉱山からのウランの販売を…」そして、広島と長崎に原爆が投下されてから、アインシュタインはこの手紙に署名したことを心から悔み続けることとなります。

3つ目は、「ラッセル＝アインシュタイン宣言」です。イギリスの哲学者ラッセルと、アインシュタインが中心となり、1955年、科学者、哲学者など11人の連名で、水爆実験競争という世界情勢に対して提示された核兵器廃絶・科学技術の平和利用を訴えた宣言文です。日本の物理学者湯川秀樹も署名しています。この宣言は、「私たちは人類が直面する悲劇的な情勢の中で、科学者たちが会議に集まって、大量破壊兵器の発達の結果として生じてきた危険を評価し、ここにそえられた草案の精神において決議を

討論すべきであると感じている。」で始まり、「…あらゆる紛争問題の解決のための平和的な手段をみいだすよう勧告する。」で締めくくられます。これを発表した3か月ほど前にアインシュタインは亡くなっており、アインシュタインが人類に放った遺言状ともいえます。

いまだに平和な世界は訪れていないのですが、アインシュタインの願いは、多くの人々に受け継がれていると思います。それは、アインシュタインの理論にロマンを感じることで確信できます。

○一年を振り返り、新たな決意を

今年も残すところわずかになってしまいました。あと一週間で2021年が終わります。昨年に続き今年もまたコロナ禍でやりたいことのできない生活を強いられ、不安な思いをした人が多いと思います。しかし、その中でも頑張ったことやできたこと、逆に怠けてしまったことやできなかったことがあるでしょう。今年一年が、皆さんにとってどんな年だったか、この機会に振り返って冷静に自分を見つめ、来年の飛躍に繋げてください。

1年生の皆さんは、一年前の今頃はまだ中学生で、高校受験を目の前にして必死に勉強していましたね。その甲斐あってみごと新宿高校に合格。コロナ禍による不安も、入学後に想定と違うこともあったでしょうが、希望を胸に入学してきたはずです。その時の決意をもって、今も学校生活に勉強に、全力を注いでいるでしょうか。

2年生の皆さんは、学校行事でも部活動でも、中心学年となった一年間でした。一方で責任や役割が大きくなり、一方でさまざまなことがこれまでと違い、大変だったことでしょう。さあ、この先にあるのは3年0学期。この時期の重要性については、この進路通信で何度も掲載してきました。今が切り替えの時です。2年生までに終わらせておくべき課題は、この冬休みから計画的に取り組み、ベストの状態で3学年を迎えましょう。

そして3年生。いよいよ追い込みです。実力を遺憾なく発揮できるよう、まずは、感染予防・体調管理に万全を期してください。4月には人生の新しいステージが待っています。「つらいときには、4月に自分

はどこにいるのか、そこにいる自分を何度も思い描いた」と先輩が合格体験記に書いています。意志あるところに道は開ける。頑張りましょう！思い通りにならないことがあってもあまりくよくよせずに、大きく構えることも必要です。「これまで頑張った、だから大丈夫」と、自分を信じて、少し気持ちを楽にして、これからの数ヶ月を乗り切ってください。

○進研模試の結果（1・2年）返却

11月に実施した進研模試の結果が返却されました。全体的な傾向としては、1年生は7月の模試と比べ、国数英3教科の平均偏差値は1.3ポイントダウン、2年生は0.9ポイントダウンとなりました。とはいえ過去の学年の同じ時期の模試結果と比較してほぼ同程度です。難易度の上がっているこの時期の模試の結果としては、よく頑張ったといってもよいのではないのでしょうか。

もちろんこれらは平均値の話であって、個々の生徒を見るとさまざまです。模試で確認してほしいのは学習の理解に不足はなかったか、それを修正するチャンスを逃していなかったか、普段の学習を自己管理できていたか、これらの自己教育力がついているかということです。そうした一人一人の省察の上に、本当の意味での学校全体の活気や雰囲気が生まれます。皆さんの取り組みの結果として、新宿高校の平均値を上げていきましょう。

さて、皆さんのクラスの学習に向かう雰囲気はいかがですか？ 3年生の教室は、行事が終わると途端に受験スイッチが入り、わずかな休み時間も単語帳を開き、黙々と勉強している人が多くなります。2年生はもちろんですが、1年生も自分たちの学習環境を今一度見直してみましょう。

○3年生の冬期休業日以降の学習について

今年度、多くの方のご尽力により、3年生は年末年始も含めて冬期休業期間に自習室を利用できることになりました。自習室を利用する人もそうでない人も同様ですが、冬期休業中の過ごし方、その間の学習計画のたて方、そしていかに自分自身をコントロールできるかが重要になります。まずは部屋の片づけをすることから。学習環境を整え、情報を整理して、集中できる環境を作りましょう。長いと思える時間も、過ごしてみるとあっという間です。時間を有効に使えるように計画をたてて取り組みましょう。3学期に教科担当の先生に個別指導をお願いする場合は、どのように予定するか、早めに相談に伺いましょう。

○大学入学共通テスト 迫る

12月22日(水)、23日(木)と、3年生は第2回共通テストシミュレーションを行いました。本番さながらのシミュレーションはどうでしたか? 共通テストは朝早くからの長丁場です。その時間に起きて、自分の頭がしっかり働いたかチェックしましょう。

いよいよ大学入学共通テストの受験票が届きました。受験教科・科目の種類によって会場が割り振られているようです。3年生は自分の受験票で試験会場を確認してください。また、冬休み中に会場の下見をしておくことをお勧めします。会場までの経路を確認し、万一電車の遅延などがあっても間に合うよう、時間に余裕をもって向かうように計画してください。

受験票と一緒に「受験上の注意」という冊子が配布されました。冊子右上に「重要」と書かれているように、とても大切な冊子です。今年度は、コロナウィルス感染予防のための追加事項があります。健康観察記録の実施などの事前準備も必要となりますし、持ち物も

変更があります。冬休み中に冊子を熟読してください。

大学入学共通テスト当日もこの冊子を会場まで持参することになっています。学校に予備はありません。もらったら名前を書いておきましょう。

どんなに必死で勉強しても、当日余裕をもって会場に到着し、受験できなければ実力は発揮できません。そのためには、入念な準備が必要です。

○大学入学共通テスト自己採点 (3年)

大学入学共通テストの翌日は共通テストリサーチで、自己採点をする日です。全員1時間目から登校してください。自己採点した結果は、河合塾と駿台ベネッセにそれぞれ提出します。毎年、全国の高等学校で同じ作業が行われています。各予備校はこのデータを集計し、どの大学にどの程度の志望者が集まっているか、合格可能性はどのくらいかを判定してくれます。この結果を踏まえて国立2次の出願を最終決定します。作業は午前中には終わります。

◆今後の予定

○冬休み 12/25(土)～1/10(月)

□特別考査(1, 2年) 1/11(火)

○自宅学習日(3年) 1/14(金)

○共通テスト 1/15(土)・16(日)

○共通テストリサーチ(自己採点) 1/17(月)

○共通テストチャレンジ模試(1, 2年) 1/19(水)

○マラソン大会(1, 2年) 1/21(金)

○午前授業(40分)・大掃除 1/25(火)

○都立推薦入試 1/26(水)・27(木) 立入禁止

サプライズは続く 日本語教師

東京外語学園日本語学校 教務主任

26 回生 鬼木 裕子

「青春したい宣言・心は密でいたい」 9月に学園祭のポスターを拝見した私はホッとしました。2年に渡るコロナ禍で皆さんがどのような高校生活を送っているか、合唱コンや修学旅行はできているかと思いを馳せていたからです。私の勤務先の日本語学校でも今年度の新入生は母国待機のまま、行事も次々中止という状況です。しかし、きっと皆さんもそうであるように、できないことを嘆くのではなく、できる方法を模索し知恵を絞っています。

さて、皆さんは日本語教師という職業をご存知でしょうか。今やコンビニも居酒屋も外国人店員が散見され、相撲力士からテレビタレントまで流暢な日本語を話す外国人は珍しくありません。日本語を学ぶ外国人は、ビジネスマン、大学生、小中高生、家族滞在の方と多岐に渡ります。そして日本語教師の働き方も個人レッスン、企業派遣、クラス授業、地域の日本語教室など実に様々です。

では、いったいどうやって日本語教師になるのでしょうか。日本人なら誰でもできそう、国語教師とはどう違うのかと思われるでしょう。まず日本語を一つの外国語として捉えるところから日本語教師の勉強が始まります。それは大学の日本語教育専攻や、日本語教師養成講座で学ぶことができます。外国人に教える日本語文法は、国語文法とは違い、動詞は全て3グループに分類され、形容詞は2種類、形容動詞はなく、システム化された非常にわかりやすいものです。他にも音声学や教授法、コミュニケーション学、また教案指導や教育実習も行われます。採用基準の一つである日本語教育能力検定試験は年一回実施されますが、出題範囲は幅広く、合格率は例年30%未満です。また、クラス授業では英語など媒介語は用いず、直接日本語で教える場合が多く、文字も未習の初級者にどのような指導が効果的か、また国籍や習熟度の相違にどう対応すればいいか等、教師の勉強は続きます。

私は高校では音楽部で歌い、語学が好きで上智大外国語学部へ進学しました。専攻は英語ですが、副専攻で日本語学を学び、特に金田一春彦教授の講義は印象的で、日本語に対する関心を持ちました。卒業後三菱商事に就職、北米向け輸出業務を担当し、結婚退職してからは10年ほど専業主婦でした。そして第三子の幼稚園入園と同時に日本語教師養成講座へ通い始め、資格を取得します。最初は外国人の役に立ちたい、日本を理解してほしいという単純な動機でしたが、今ではこれほど刺激的で、飽きることのない職業はないと言えます。

スタートは日本語学校の非常勤講師でした。日本語学校とは日本の大学や専門学校への進学を目指す留学生が通う学校で、まさに「あいうえお」から教えます。新米教師として厳しい教案指導を受けながらの実践でした。またビジネスマン相手の出張レッスンも始め、更に充実しました。その後子供の成長に合わせて専任講師となり、カリキュラム作りや進路指導も担い、いつの間にか20年。学生の国籍も中国・台湾・韓国が主だったのが、東南アジア中心に10カ国以上に増え、常にサプライズが続く活気溢れる職場で、教えるより教わることの方が多いい日々です。日本に憧れ、夢を抱いて来日した留学生が、やがて日本社会で活躍する姿を見届けられるのは大きな喜びです。

この仕事の魅力は何と言っても性別や年齢によるハンディがなく、女性もライフスタイルに合わせて一生続けられることです。それまでのどんな人生経験も活かせるのです。今後日本に求められる多文化共生社会作りにも日本語教師の果たす役割は大きいと期待しています。